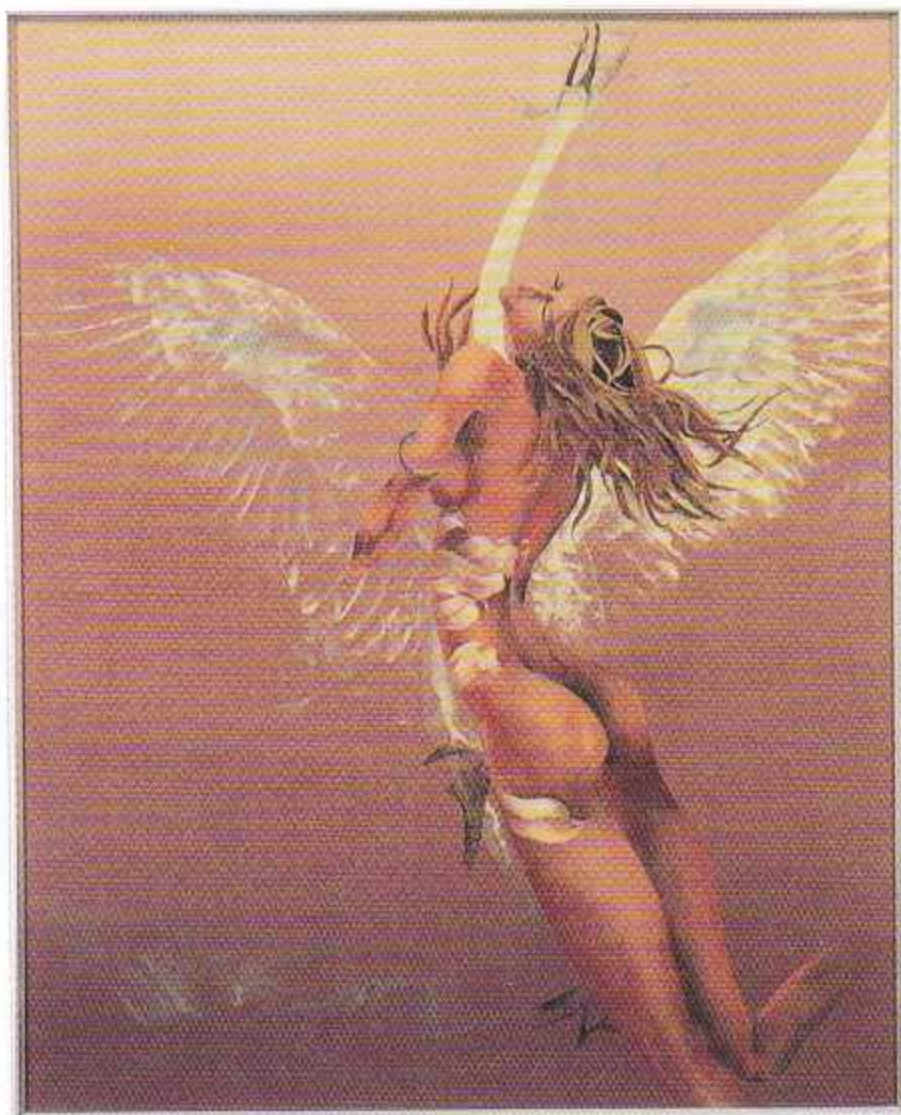




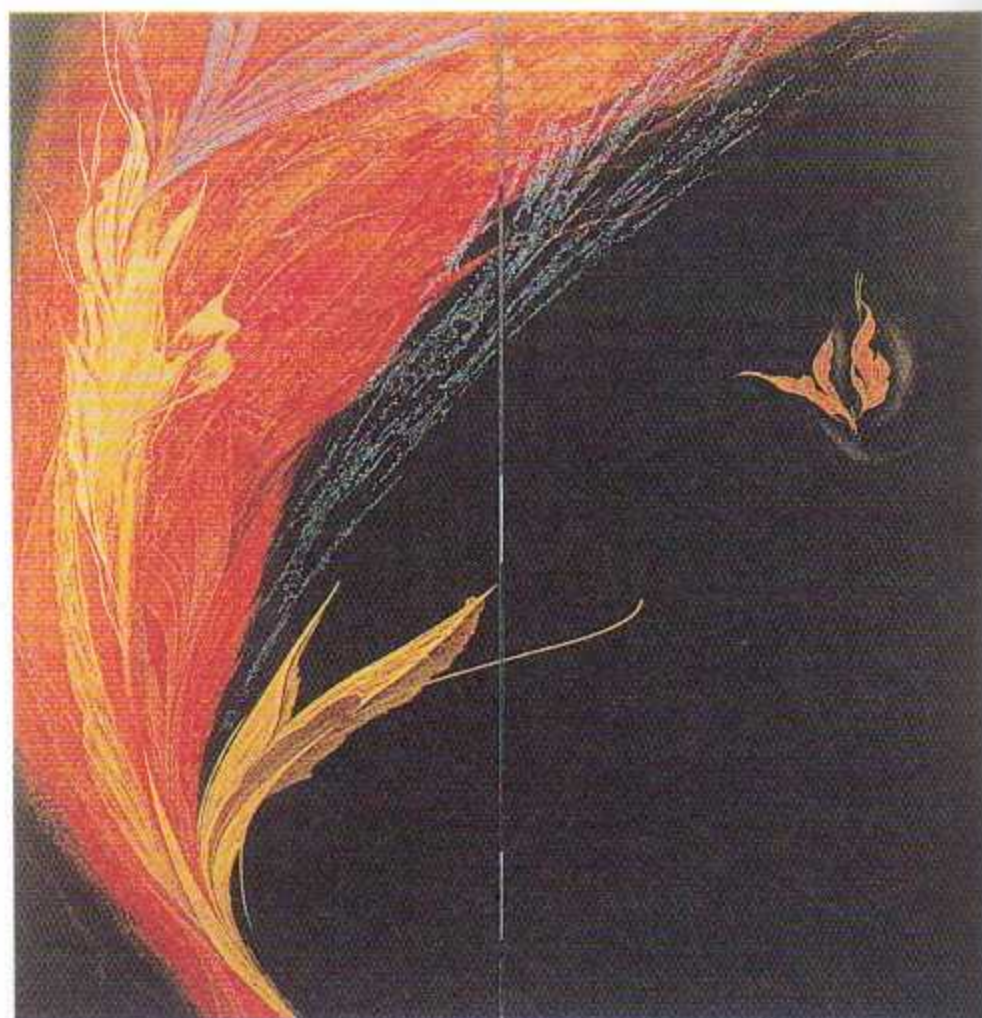
天野夫婦共同の作品



藤井観文の作品「椽木花鳥」(日本画)



現代の女性漆芸家 小田原延子『レダと白鳥』



現代の女性漆芸家 小式海夏子「草炎」

堂」の号をもらい、漆器業界の古い常識を破って女親方として独立した。そうして、太平洋戦争が始まるころまでに、女性ばかり七人の弟子を沈金職人に育てあげた。

昭和六年、第十二回帝国美術院展覧会に初入選した彼女は工芸界に一躍名を知られた。また、二十一年に第一回日本美術展覧会(日展)に入選すると、第二回、第四回(特選)、第五回、第七回と入選を続けた。

第一回入選作の装身具箱『平和の秋』は、敗戦という激動のなかでおだやかな時間の喜びを表したものだという。この姉妹作品である文庫は、日本工芸の代表作品の一つとしてアメリカの展覧会に出品された。

二十七年九月十八日、文堂は五七歳で没した。第七回日展の作品は、彼女の死後の出品となったが、日展は特に喪の出品として異例の入選を許した。

(坂下静香)